

## 吉香公園

関が原の戦い後 吉川広家は奥出雲から岩国へ移封され 錦川を外堀とし、横山を城地とします。山頂に天守閣を、山麓に居館を構築（お土居ともいう）あわせて岩国城とします。一国一城令で山頂の城は壊され 山麓のみが江戸時代の城でした。今のお濠の内側が城跡です。さて どこから建築を始めたのでしょうか？

矩形のお濠をたどると 北側に菖蒲池があります。この地が吉川広家の母君の居館跡です。まず 母君の住居から建築を始めました。 親孝行のお手本です。

明治4年 廃藩置県となり お城はすべて解体され 明治18年 吉香神社を移築され、吉香公園となり、周りに 桜が植えられました。（明治19年1月21日）と記録されています。 明治25年、明治40年頃の写真を重ねて見ると 現在もその桜と思われる木が花を咲かせています。当時は堅皮吉野桜と呼ばれていますが ソメイヨシノのことです。青森県弘前城のサクラ（ソメイヨシノ）が 明治15年に植えられ日本一古いといわれますが 匹敵する貴重なものです。